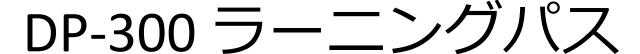
# DP-300 Microsoft Azure SQL ソリューションの管理

Day 2 - (3)セキュリティ





- 1 Azure データベース管理の概要
- 2 データ プラットフォーム リソースの計画と実装
- ・3 データベース サービスにセキュリティで保護された環境を実装する
  - 4 Azure SQL で運用リソースを監視および最適化する
  - 5 Azure SQL でのクエリ パフォーマンスを最適化する
  - 6 Azure SQL のデータベース タスクを自動化する
  - 7 高可用性とディザスター リカバリーの環境を計画して実装する





#### データベース サービスにセキュリティで保 護された環境を実装する

3 時間・ラーニング パス・3 モジュール

中級 データアナリスト データエンジニア データベース管理者 Azure Azure SQL データベース SQL Server

認証と認可のための SQL Server ベースのオプションに加え、Azure SQL データベースをセキュリティで 保護するための Azure オプションを実装します。 暗号化、ファイアウォール、高度な脅威保護について 説明します。

- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

# データベース管理者の認証(本人確認)

- Azure SQL Database / Azure SQL Database Managed Instanceの場合
  - 「SQL認証」または「Entra認証」を使用

- SQL Server on Azure VMの場合
  - 「SQL認証」または「Windows認証」を使用
  - ※SQL Server 2022以降では「Entra ID認証」も利用可能

- DB管理者の認証: Entra ID認証 SQL認証、Windows認証
  - ・ ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする



# Microsoft Entra IDとは? (旧 Azure Active Directory)



Create a resource



Dashboard





All resources

Resource groups

App Services

Function App

SQL databases

Azure Cosmos DB

Virtual machines

Load balancers

Storage accounts

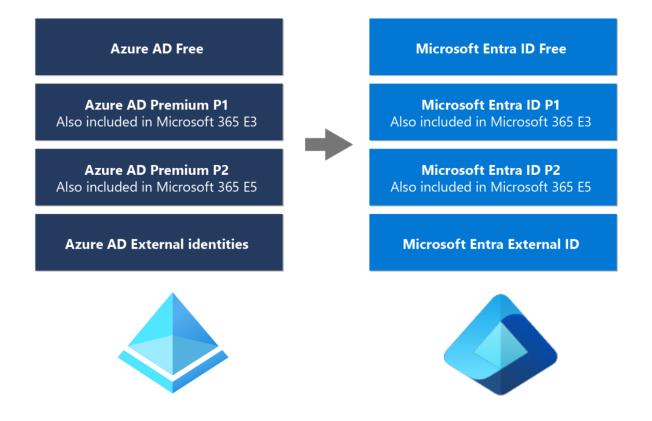
Virtual networks

Microsoft Entra ID

Monitor

횪 Advisor

2023/7/11~、Azure Active Directory (Azure AD) は「Entra ID」に名称変更(リブランディング)。 ただし、機能・料金には変更はない。



旧名称「Azure Active Directory」(Azure AD)は 新名称「Entra ID」と読み替えてください。

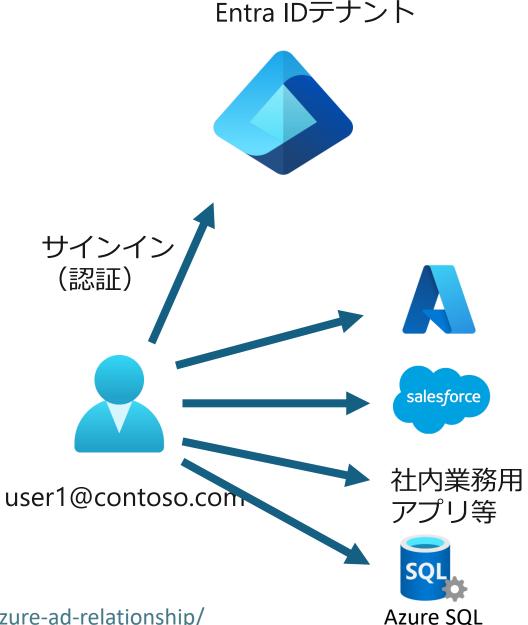
https://mitomoha.hatenablog.com/entry/2023/08/05/024849

https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/active-directory/fundamentals/new-name

https://news.microsoft.com/ja-jp/2023/07/12/230712-azure-ad-is-becoming-microsoft-entra-id/

Identity and Access Management (IAM)

- クラウドベースの「IDおよびアクセス管理」サービス
- ユーザーIDなどを一元管理する認証基盤
- Microsoft Azure、Microsoft 365などへのサインイン(ユーザー認証)で利用される
- サードパーティ製のクラウドアプリ(Salesforce、 Dropbox、ServiceNowなど)へのサインインでも 利用できる
- ユーザーが開発した独自の業務アプリなどへのサインインでも利用できる
- 一度サインインすれば、いろいろなサービスやア プリにアクセスできる(シングルサインオン)







Active Directory Domain Service (AD DS)



Entra ID Connect

アプリ

ID連携



Entra ID

クラウドベースの 認証基盤

オンプレの アプリへの アクセス



Entra ID アプリケーション プロキシ



Microsoft Entra

Domain Services

クラウドへの アプリ移行

アプリへの アクセス制御



条件付きアクセス

ID/パスワード/MFA

ユーザー 本人確認





Entra ID MFA



セキュリティの 既定値(群)



セルフサービス パスワードリセット



**Identity Protection** 

無料のMFA・ セキュリティ設定

IDに関する リスクを低減

権限

必要な時のみ 権限を付与



Privileged Identity Management



アクセスレビュー

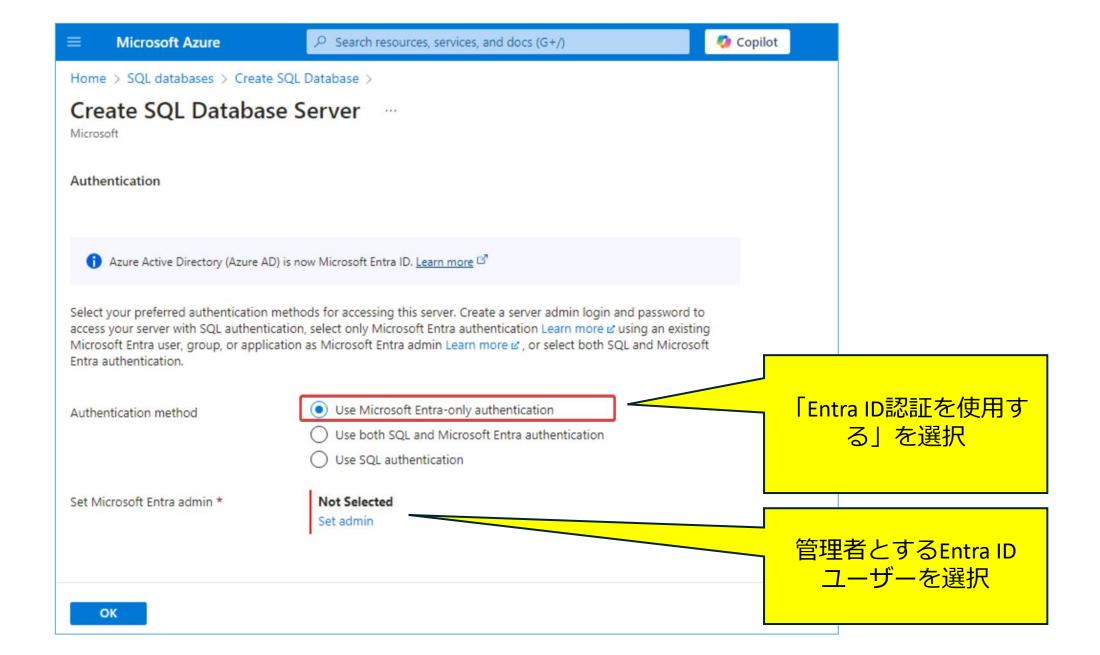
不要な権限を取り除く

# Azure SQLのEntra認証

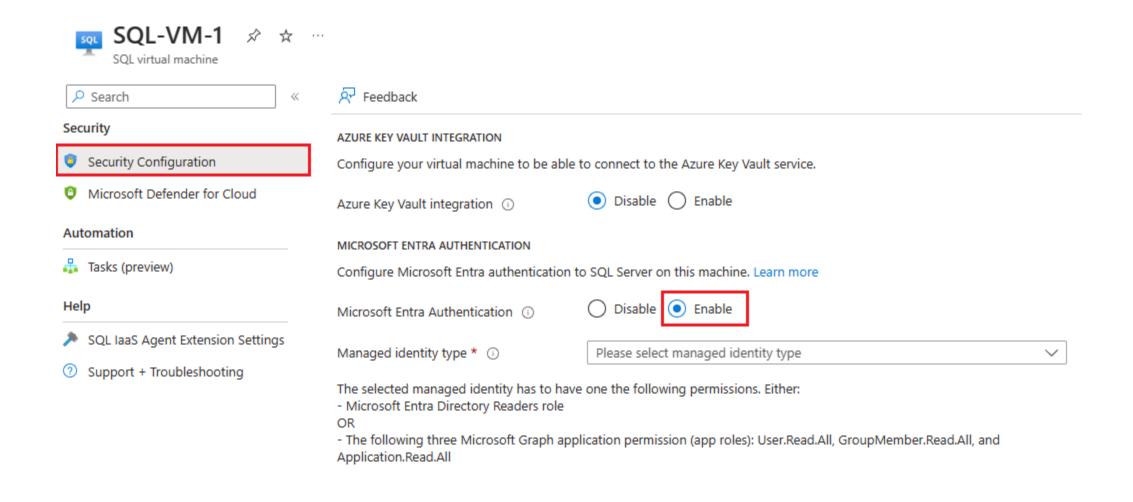
- Microsoft Entra ID を使用して認証する方式
- Azure SQL Database / Azure SQL Database Managed Instance: 「SQL サーバー」作成時に、認証方式として「Entra認証」を選択し、データベース管理者のユーザーとしてEntra IDユーザーを指定する
- SQL Server on Azure VM: VMの「セキュリティ構成」画面で、認証方式として「Entra認証」を有効化し、データベース管理者のユーザーとしてEntra IDユーザーを指定する
- 接続時、SSMSやAzure portalで「Entra認証」を選択する(このときにまだEntra IDにサインインしていない場合、Webブラウザーが開き、Entra ID認証画面が表示される)

 $\frac{https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-sql/virtual-machines/windows/configure-azure-ad-authentication-for-sql-wm?view=azuresql\&tabs=azure-portal#enable-microsoft-entra-authentication}$ 

■ Azure SQL Databaseの「SQLサーバー」作成時の、Entra ID認証方式の選択と、Entra IDユーザーの選択

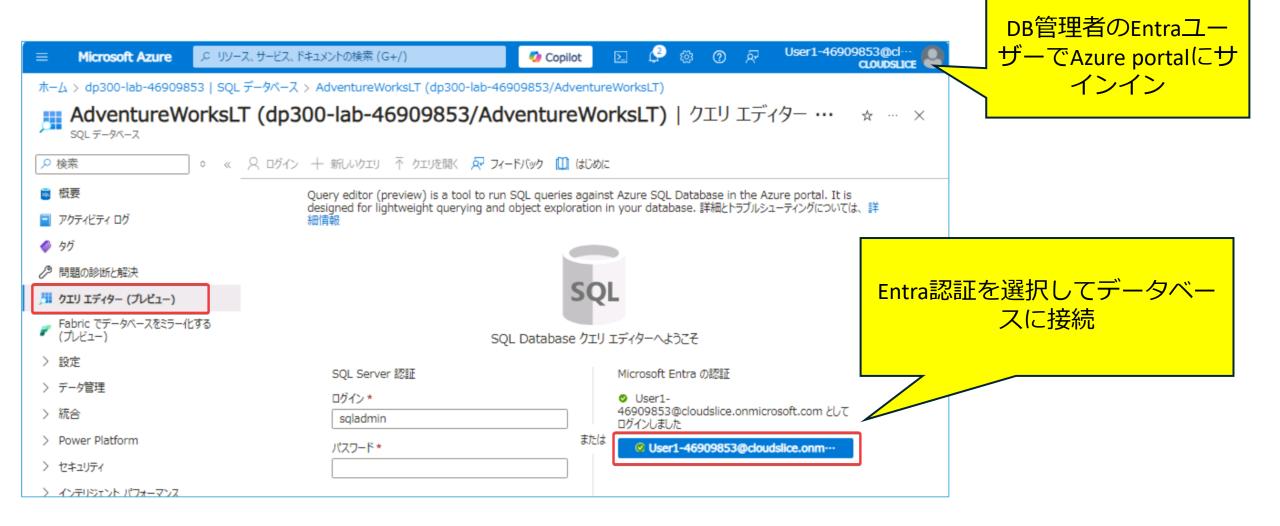


■SQL Server on Azure VMでの、Entra ID認証方式の有効化と、Entra IDユーザーの選択



https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-sql/virtual-machines/windows/configure-azure-ad-authentication-for-sql-vm?view=azuresql&tabs=azure-portal#enable-microsoft-entra-authentication

■「Entra ID認証」による接続の例



- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

### SQL認証

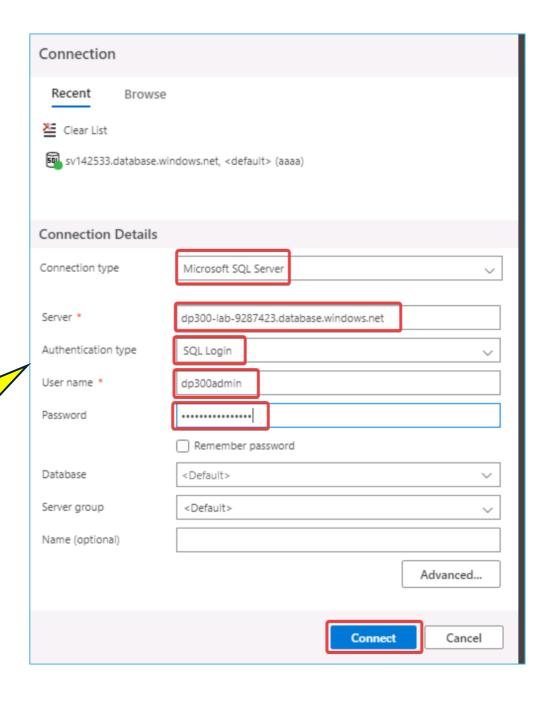
- 「SQL Server認証」とも
- 「SQLサーバー」や「SQL Database on VM」の作成時に、データベース管理者のユーザー名とパスワードを設定
- データベース接続時に、そのユーザー名とパスワードを入力

■ Azure SQL Databaseの「SQLサーバー」作成時の管理者ユーザー名(ログイン)・パスワードの設定例

■ Microsoft Azure						
ホーム > SQL データベース > SQL デー	-タベースの作成 >					
SQL Database サール Microsoft	で 一の作成 …					
名前と場所の指定など、この サーバー に必要 プに作成されます。	要な設定を入力します。この サーバー が、デー	-タベースと同じサブスクリプションとリソース グルー				
サーバー名 *	db300-lab-9823742	✓				
		.database.windows.net				
場所*	(US) West US 2	✓				
認証方法	Microsoft Entra 専用認証を使用する					
	SQL と Microsoft Entra 認証の	)両方を使用する				
	SQL 認証を使用する					
サーバー管理者ログイン *	dp300admin	✓				
パスワード*	•••••	✓				
パスワードの確認 *	••••••	✓				
ОК						

■「SQL認証」を使用した接続の例

SSMS等のツールで「SQL認証」 を選択し、管理者のユーザー 名・パスワードを入力

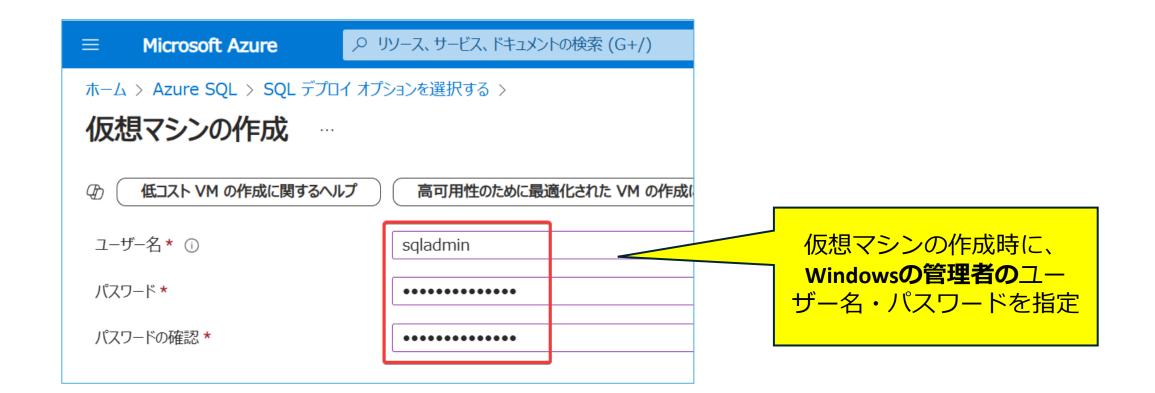


- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

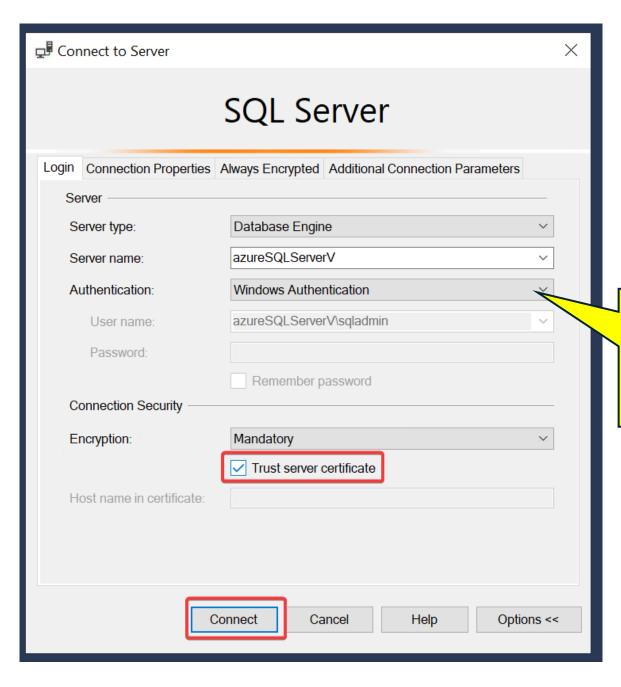
### Windows認証

- Windows OSのユーザーアカウントを使用して認証する方式
- Azure SQL Database Managed InstanceまたはSQL Server on Azure VMで利用可能
- SQL Server on Azure VMでの利用例
  - Azure VM作成時に、Windows管理者のユーザー名とパスワードを入力する。このユーザーがデータベースの管理者となる
  - データベース管理者は、RDPを使用してVMに接続する。そしてSSMS等でデータベースに接続する際、認証方式として「Windows認証」を選ぶ

■ SQL Server on VMの「Windows認証」の設定例



#### ■ SQL Server on VMの「Windows認証」による接続例



Windowsにその管理者ユーザー でサインインし、SSMSの 「Windows認証」を使用してSQL Serverに接続する

### どの認証方式がよいのか?

- 可能な場合は「Entra認証」を使用することが推奨されている
  - Entra IDでは「MFA」や「条件付きアクセス」、「パスワードレス認証」などの最新の安全な認証機能が提供される
  - 管理者は普段使っているEntra IDを使用してデータベースにサインインでき、追加のパスワードなどを覚える必要がない
- 「SQL認証」と「Windows認証」では、可能な場合は「Windows 認証」を使用することが推奨されている
- 「SQL認証」を使用する場合は、ユーザー名・パスワードの漏洩に注意

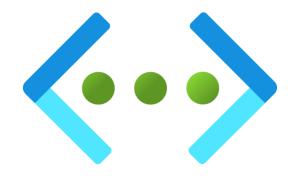
- DB<u>管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、</u>Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

# ラボ3 講師デモ

別紙

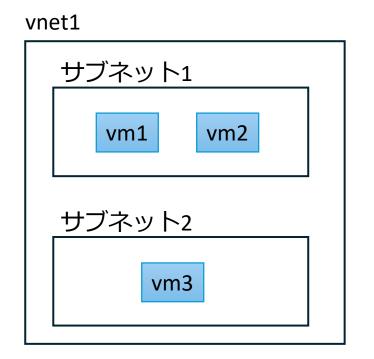
- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

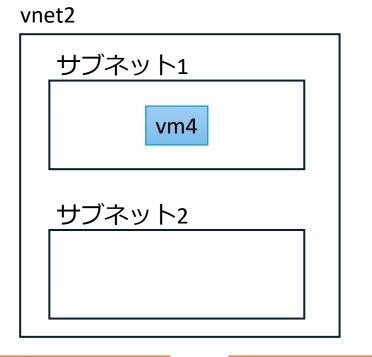
# Azure 仮想ネットワーク



# Azureの仮想ネットワーク (Virtual Network, VNet)

- Azure内に作成されるプライベートなネットワーク
- 各VNetは論理的に分離されている
- VM(Azure仮想マシン)、Azure Firewall、Azure Bastion、Azure Application Gateway、仮想ネット ワークゲートウェイなどのリソースはVNetの内部(サブネット内部)に配置される
- その他の多くのAzureのサービスのリソースはVNetの外部に配置される





ストレージアカウント

**Azure Cosmos DB** 

Azure Key Vault

Azure OpenAl Service

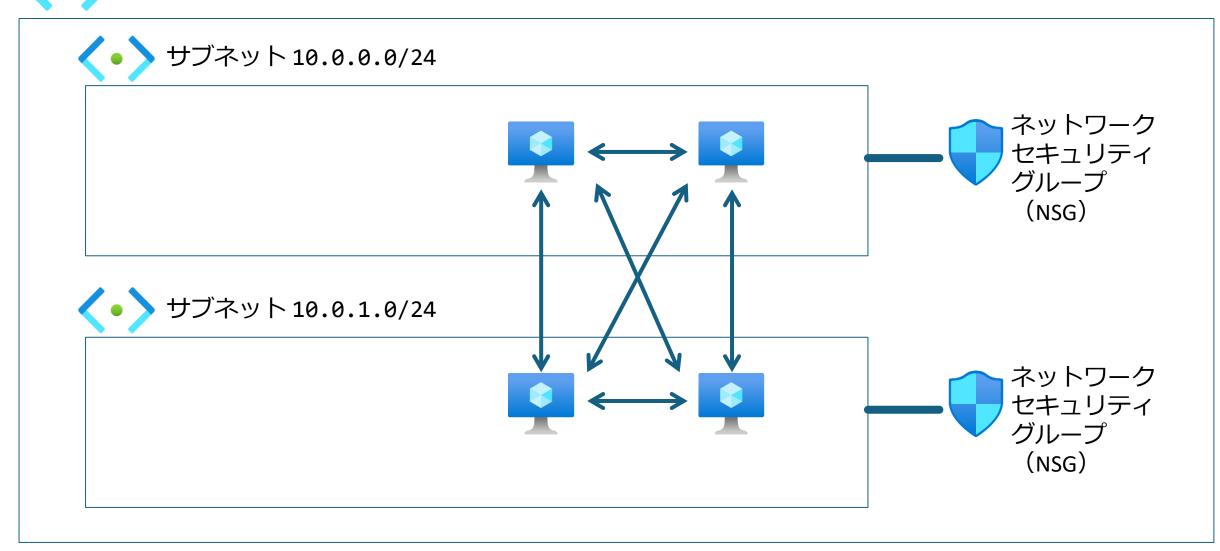
# サブネット



仮想ネットワークの中にサブネットを作成。(パブリック/プライベート、Web/App/DB等) VMは、同じVNet内であれば、サブネットを超えて相互に通信可能。 サブネット(とNIC)にはNSGを関連付けできる

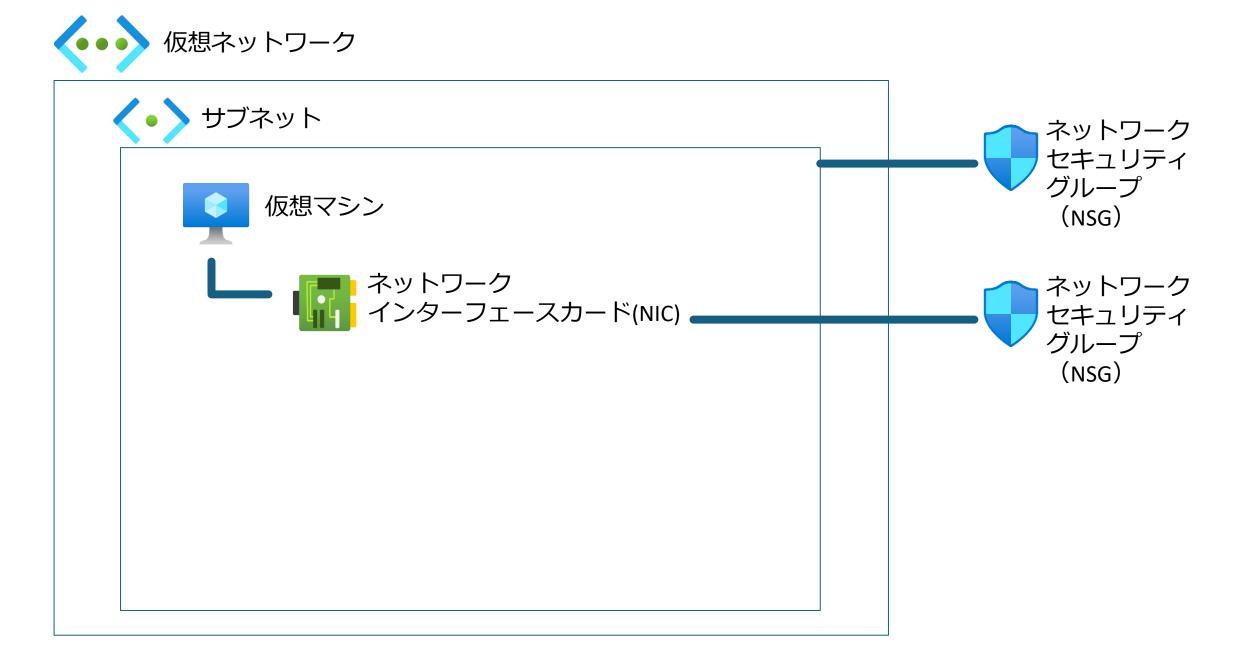


仮想ネットワーク 10.0.0.0/16





ネットワーク セキュリティグループ(NSG) ネットワークセキュリティグループ(NSG)は、サブネットまたはNICに関連付けが可能。



#### NSGには「受信セキュリティ規則」と「送信セキュリティ規則」という規則のリストがある。

優先度 ↑↓	名前 ↑↓	<b>ポート</b> ↑↓	プロトコル ↑↓	<b>ソ</b> −ス ↑↓	宛先 ↑↓	<b>アク</b> ション ↑↓
300	⚠ RDP	3389	TCP	任意	任意	Allow
310	AllowAnyHTTPInbound	80	TCP	任意	任意	✓ Allow
65000	AllowVnetInBound	任意	任意	VirtualNetwork	VirtualNetwork	✓ Allow
65001	AllowAzureLoadBalanc	任意	任意	AzureLoadBalancer	任意	✓ Allow
65500	DenyAllInBound	任意	任意	任意	任意	Deny
	☆ 送信セキュリティ規則					
優先度↑↓	名前 ↑↓	<b>ポート</b> ↑↓	プロトコル ↑↓	<b>У</b> − <b>ス</b> ↑↓	宛先 ↑↓	アクション ↑↓
65000	AllowVnetOutBound	任意	任意	VirtualNetwork	VirtualNetwork	Allow
65001	AllowInternetOutBound	任意	任意	任意	Internet	Allow

各規則には「優先度」があり、優先度が高い(数字が小さい)ものから順に評価されていく。 65000以降のものは組み込みの規則であり、カスタマイズ・削除できない。

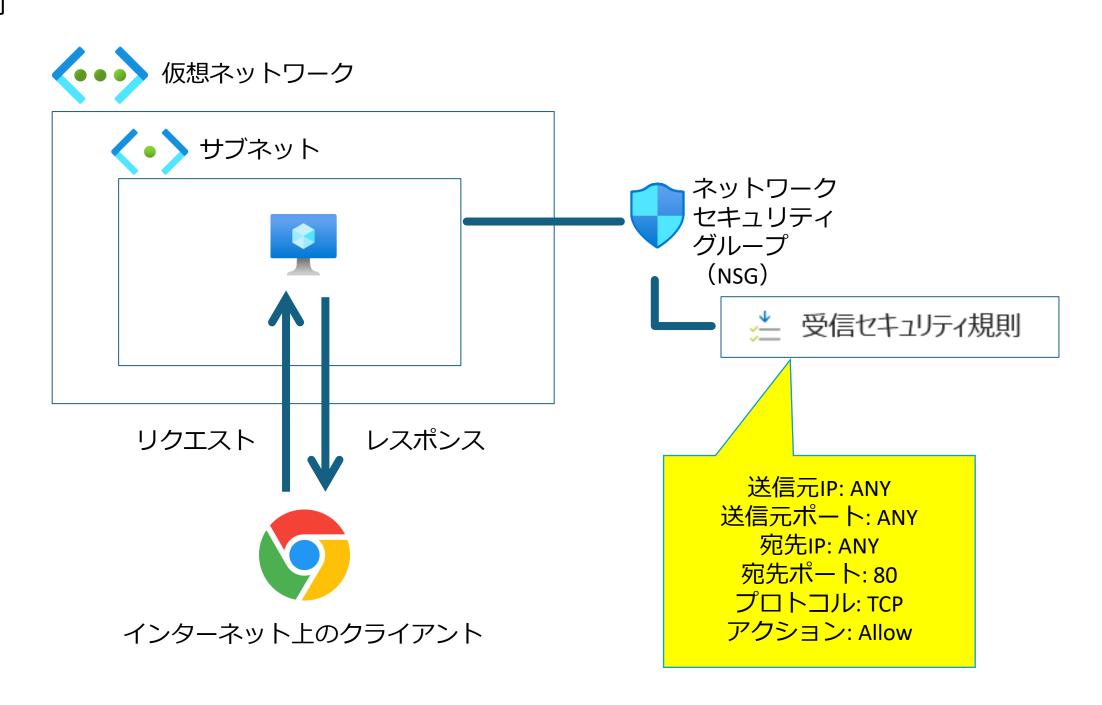


例(1): RDP(TCP 3389)のトラフィック: 優先度300番の規則により、許可される。

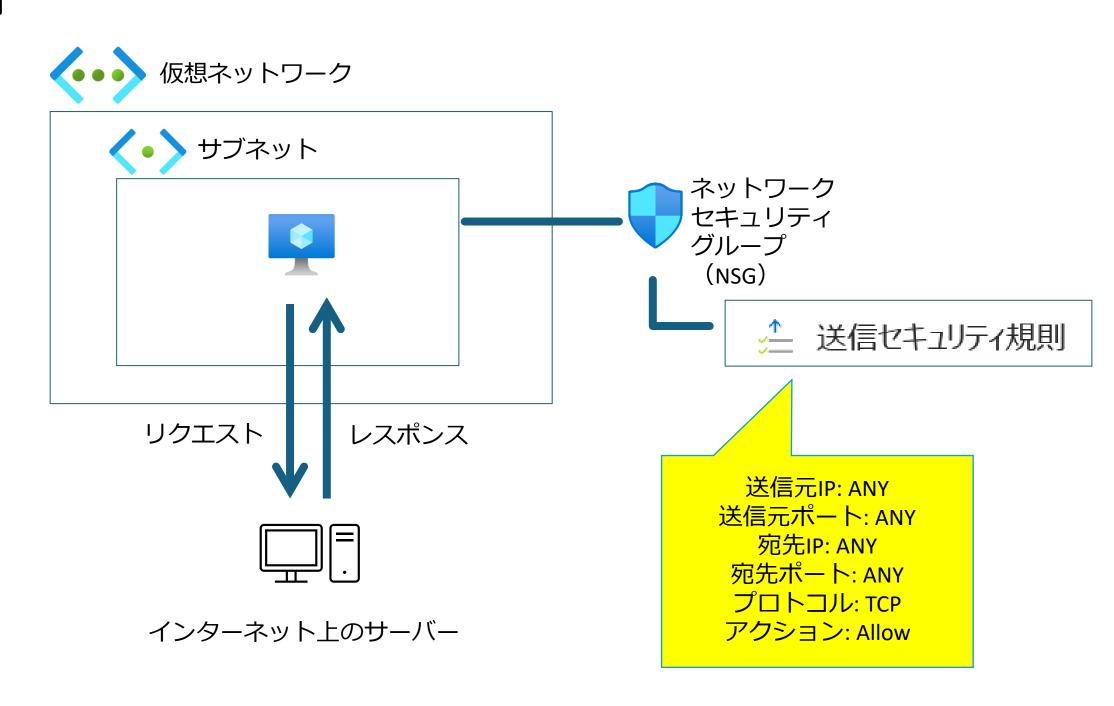
例(2): HTTP(TCP 80)のトラフィック: 優先度310番の規則により、許可される。

例(3): SSH(TCP 22)のトラフィック: 優先度65500番の規則により、拒否される。

「受信」の例

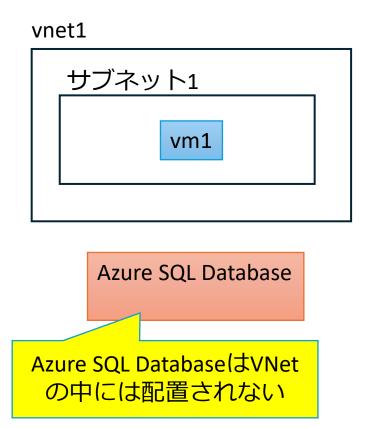


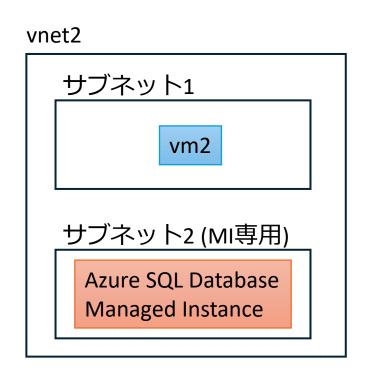
#### 「送信」の例

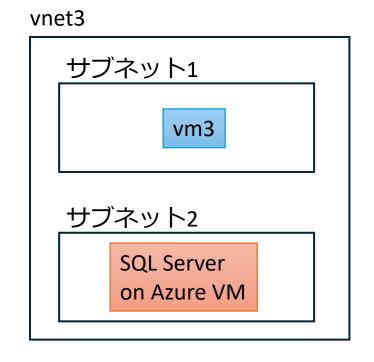


# Azure SQLと仮想ネットワーク

- Azure SQL Database: 仮想ネットワークの外側に配置される
- Azure SQL Database Managed InstanceとSQL Server on Azure VM: 仮想ネットワークの内側に配置される



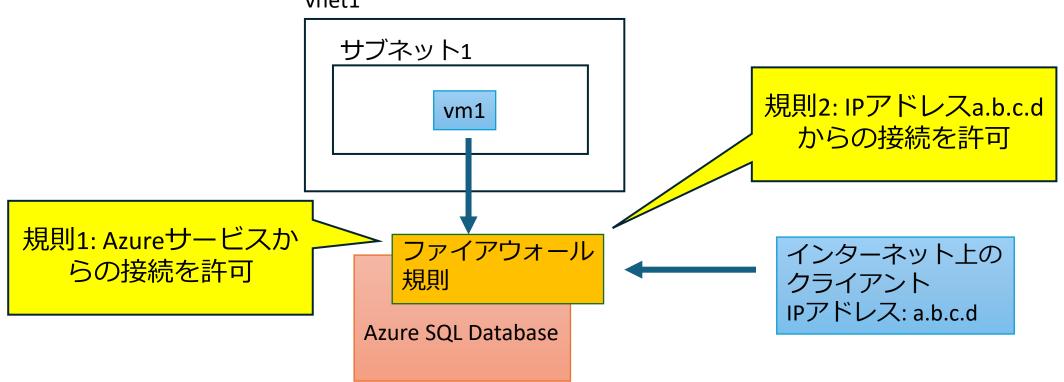




- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

### Azure SQL Database: 仮想ネットワークの外側

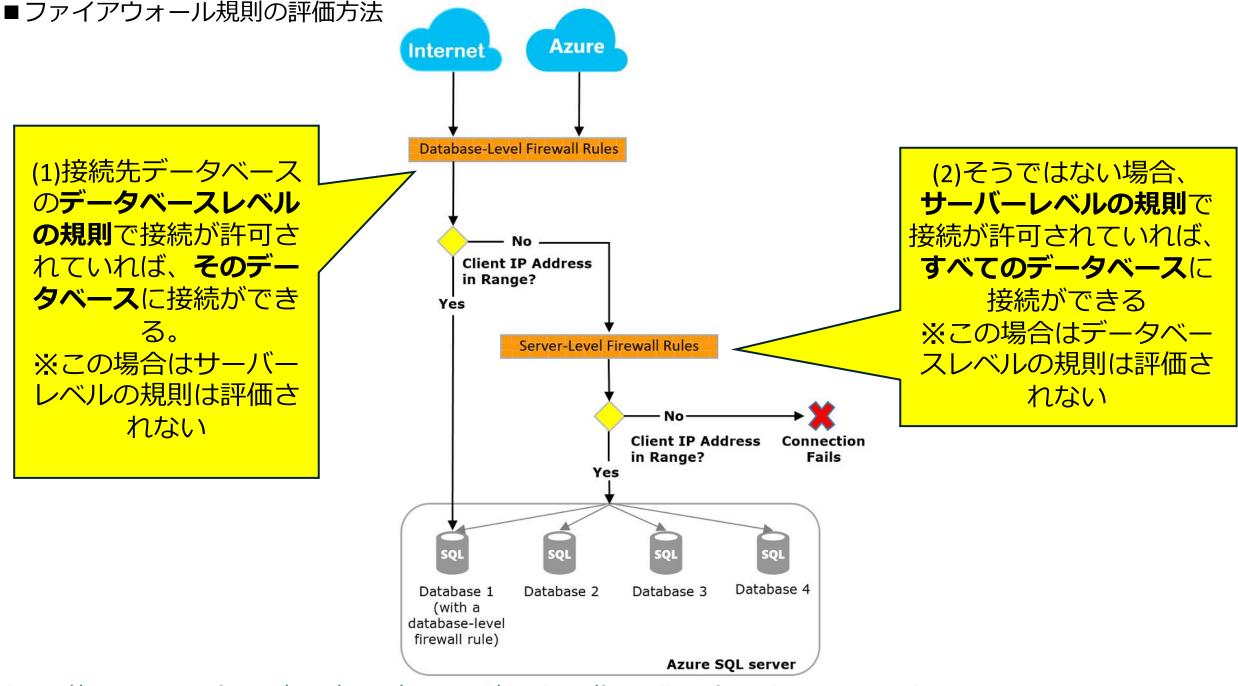
- Azure SQL Databaseでは、適切な「**ファイアウォール規則**」を設定することで、Azure VMなどのAzureサービスや、インターネットからの接続を許可する。
- ※デフォルトでは、すべてのIPアドレスからの接続を拒否 vnet1



### ファイアウォール規則

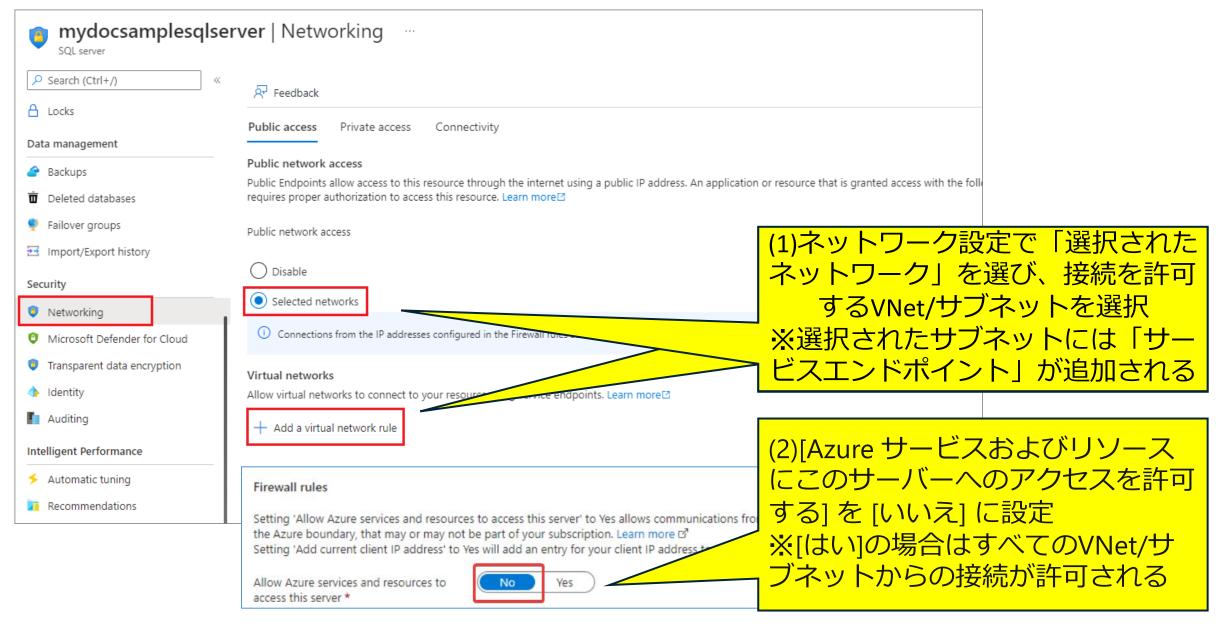
- Azure SQL Databaseで利用可能
- 「ファイアウォール規則」は、接続を許可するクライアントのIPアドレス の範囲の指定。
- 例: 11.22.33.100 11.22.33.200と指定すると、その範囲のIPアドレスのクライアントから、データベースに接続できる
- 「サーバーレベルのファイアウォール規則」と「データベースレベルのファイアウォール規則」がある

Azure SQL Database SQLサーバー ファイアウォール規則 SQLデータベース SQLデータベース SQL データベース Trend SQL データベース SQL データベースレベルの ファイアウォール規則 ファイアウォール規則



https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-sql/database/firewall-configure?view=azuresql

#### ■参考:「特定の」VNet/サブネットからのみ接続を許可したい場合(サービスエンドポイント)



https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-sql/database/vnet-service-endpoint-rule-overview?view=azuresql

■参考: プライベートエンドポイント接続: さまざまなパターンのプライベート接続をサポート。

Azure SQL Database: 2018/2/22 $\sim$  / Azure SQL Database Managed Instance: 2023/8/10 $\sim$ 

#### Azure 仮想ネットワーク(VNet)



■参考: プライベートエンドポイント接続: さまざまなパターンのプライベート接続をサポート。 Azure SQL Database: 2018/2/22~ / Azure SQL Database Managed Instance: 2023/8/10~

Azure 仮想ネットワーク(VNet)



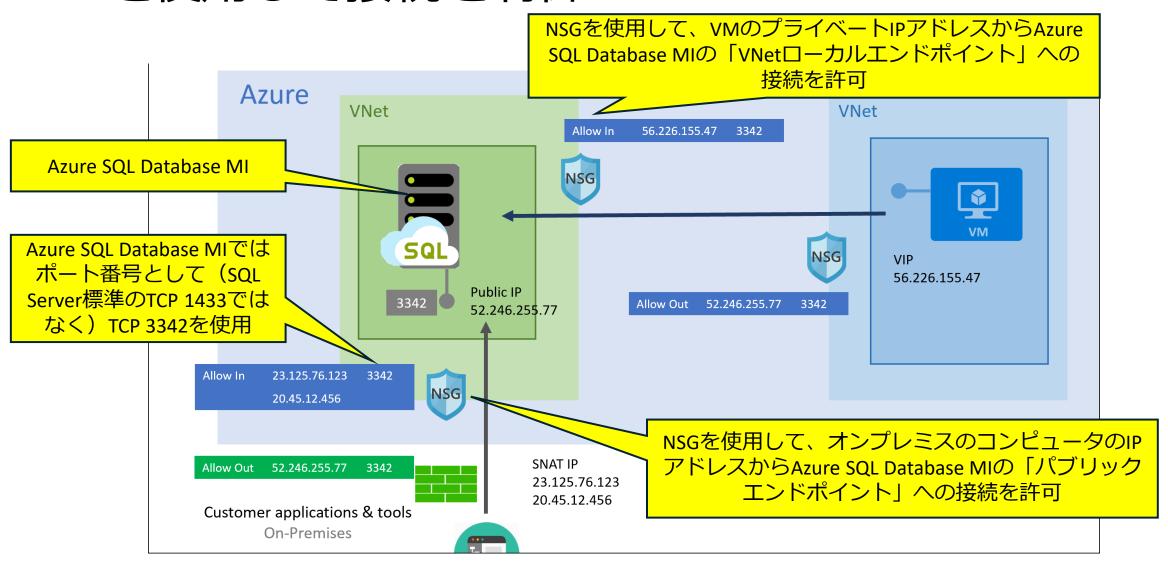
Azure SQL Database:  $2018/2/22 \sim /$  Azure SQL Database Managed Instance:  $2023/8/10 \sim$ Azure 仮想ネットワーク(VNet) Azure 仮想ネットワーク(VNet) ハブ スポーク ピアリング サブネット1 (共通リソースを配置) (個別システムを配置) Azure SQL Database / プライベートエンドポイント Azure SQL Database MI Azure 仮想マシン (VM1) プライベートエンドポイント サブネット2 からの接続のみを受け付け Azure 仮想マシン (VM2)

■参考: プライベートエンドポイント接続: さまざまなパターンのプライベート接続をサポート。

Azure SQL Database:  $2018/2/22 \sim /$  Azure SQL Database Managed Instance:  $2023/8/10 \sim$ Azure 仮想ネットワーク(VNet) Azure 仮想ネットワーク(VNet) ピアリング サブネット1 Azure SQL Database / プライベートエンドポイント Azure SQL Database MI Azure 仮想マシン (VM1) プライベートエンドポイント サブネット2 からの接続のみを受け付け Azure 仮想マシン (VM2) VPN接続/ 専用線接続 Azure ExpressRoute GatewaySubnet オンプレミスの 仮想ネットワークゲートウェイ ネットワーク等

■参考: プライベートエンドポイント接続: さまざまなパターンのプライベート接続をサポート。

#### Azure SQL Database Managed Instanceと SQL Server on VM: 仮想ネットワークの内側にあるため NSGを使用して接続を制御

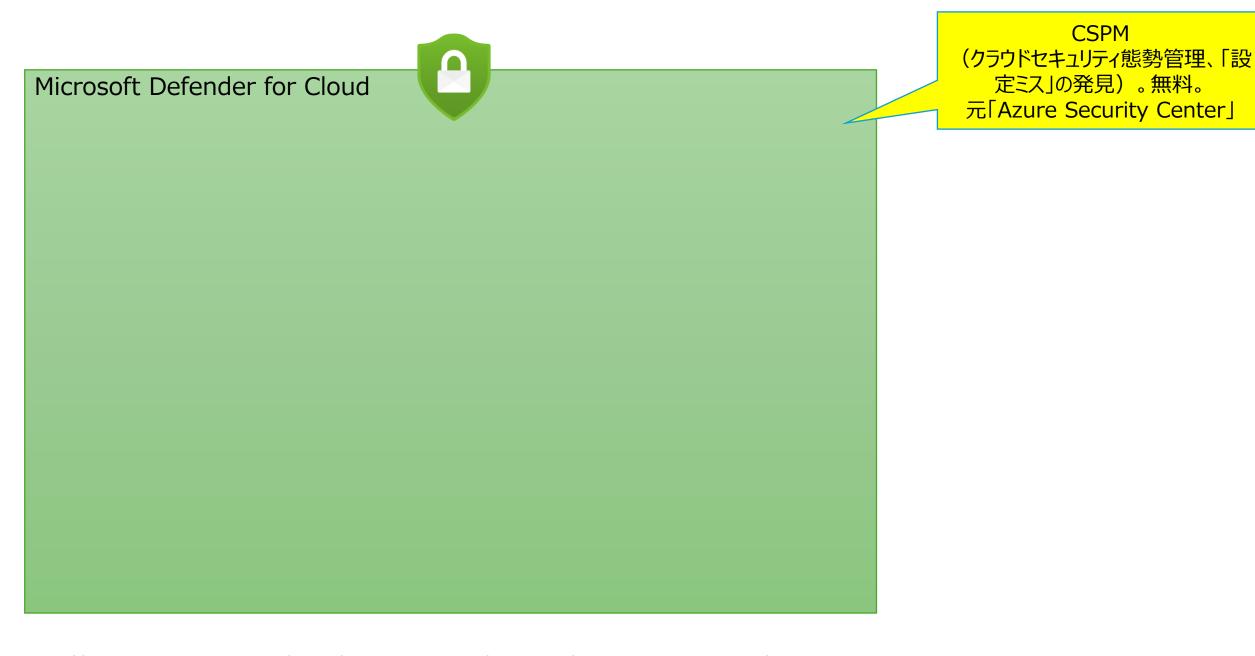


- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

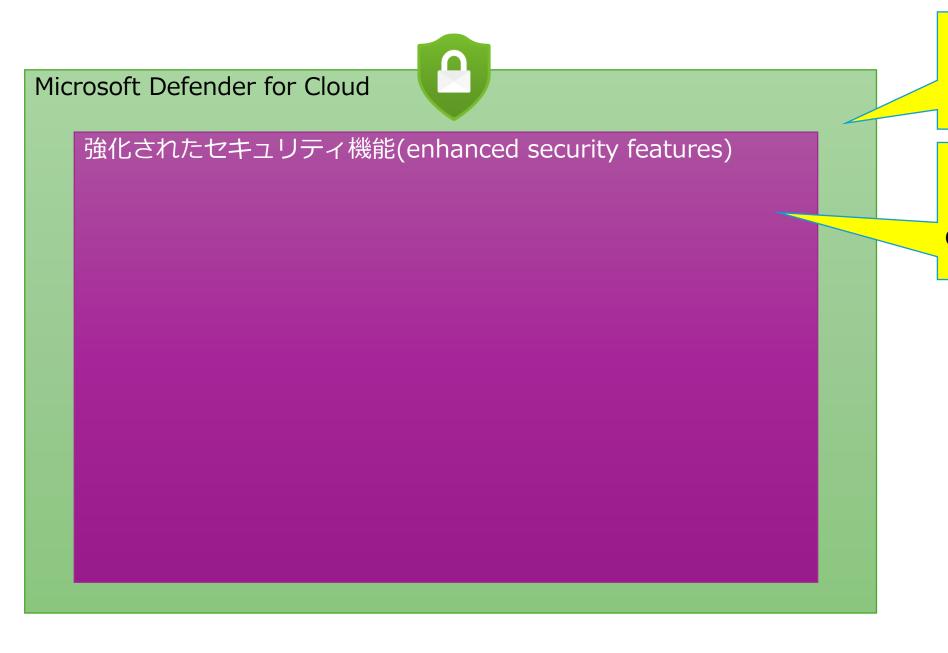
# ラボ4講師デモ

別紙

- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする



https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/security/defender-endpoint/defender-endpoint-plan-1-2 https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/defender-for-cloud/defender-for-servers-introduction



CSPM (クラウドセキュリティ態勢管理、「設 定ミス」の発見)。無料。 元「Azure Security Center」

CWPP (クラウドワークロード保護プラット フォーム、VM等の保護)。有料。 CWP(クラウドワークロード保護)とも。 元「Azure Defender プラント

https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/security/defender-endpoint/defender-endpoint-plan-1-2 https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/defender-for-cloud/defender-for-servers-introduction



強化されたセキュリティ機能(enhanced security features)

Microsoft Defender for servers

(プラン1: \$5/サーバー/月、プラン2: \$15/サーバー/月)



オンプレ/クラウドの Windows/Linux

Microsoft Defender for SQL

Azure SQL Database Azure SQL Database Managed Instance ※元Azure SQL Data Warehouse

Azure Synapse Analytics

Microsoft Defender for SQL Server on Machines

SQL Server on Azure VM

オンプレVMの SQL Server AWS/GCPのVMの SQL Server CSPM (クラウドセキュリティ態勢管理、「設 定ミス」の発見)。無料。 元「Azure Security Center」

CWPP (クラウドワークロード保護プラット フォーム、VM等の保護)。有料。 CWP(クラウドワークロード保護)とも。 元「Azure Defender プラント

「強化されたセキュリティ機能」に含まれるプランの1つ。マルチクラウドとオンプレのWindows/Linuxマシンを保護。

「強化されたセキュリティ機能」に含まれるプランの1つ。データベースの脆弱性評価と、脅威に対する保護を提供。

https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/defender-for-cloud/defender-for-sql-on-machines-overview

https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/security/defender-endpoint/defender-endpoint-plan-1-2

https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/defender-for-cloud/defender-for-servers-introduction

#### Microsoft Defender for SQL

- 2020/12/2 一般提供開始
- Azure SQL Database / Azure SQL Database Managed Instance / Azure Synapse Analyticsで利用可
- データベースの潜在的な脆弱性を検出して軽減するのに役立つ
  - 1. 脆弱性評価: データベースをスキャンして、脆弱性を検出、追跡、修復。
  - 脅威に対する保護: 詳細なセキュリティ アラートと推奨されるアクションを利用できる
- 有料(\$15/サーバー/月)※最初の30日は無料試用可

#### Microsoft Defender for SQL

- 1. 脆弱性評価
  - データベースをスキャンして、脆弱性を検出、追跡、修復
  - 脆弱性を発見するのに役立つ
- 2. 脅威に対する保護
  - 詳細なセキュリティ アラートと推奨されるアクションを利用できる
  - SQLインジェクション攻撃、ブルートフォース攻撃などの脅威を検出してア ラートを発報
  - 脅威を軽減するためのガイダンスが利用できる

#### Microsoft Defender for SQL

1. 脆弱性評価

攻撃される前の予防

- データベースをスキャンして、脆弱性を検出、追跡、修復
- 脆弱性を発見するのに役立つ
- 2. 脅威に対する保護

実際の攻撃に対する対処

- 詳細なセキュリティ アラートと推奨されるアクションを利用できる
- SQLインジェクション攻撃、ブルートフォース攻撃などの脅威を検出してア ラートを発報
- 脅威を軽減するためのガイダンスが利用できる

- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

# ラボ5(前半) 講師デモ

別紙

- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ・ラボ5 (後半)データ分類を有効にする

#### SQL Information Protection (データベース内の機密データの検出と分類)

- 2018/5/7 一般提供開始
- Azure SQL Database / Azure SQL Database Managed Instance / SQL Server 2012以降で利用可能
- データベースレベルで有効化
- 無料
- ・列の名前に基づき、列の情報種別が決定される。
- パスワード、氏名、電話番号など、機密性の高いデータを含む 列をすばやく特定できる。 機密性の高いデータが含まれる

機密性の高いテータが含まれる データベースを特定し、保護対策 を行うのに役立つ

SQL Server 2012以降が稼働するSQL

Server on Azure VMでも利用可能

Home > Microsoft Defender for Cloud > SQL Information Protection (preview) > Configure information type Information types Enabled OFF ON Create information type Display name \* Create and manage information types Drag information types to order in ascending discovering ranking Configure ↑ Move up ↓ Move down ↑ Move to top ↓ Move to bottom ☐ Delete Description Information type Associated label State Type Built-in ... 「データの検出と分類」では、**列の名前** Built-in に基づき、列の情報種別が決定される。 Built-in Built-in ... Associated label たとえば検出パターンに Built-in ... [n/a] 「%password%」と設定すると、**列名に** Built-in ... passwordという文字列が含まれている Pattern Allow numeric 場合、その列はパスワードを含む列であ 😋. %password% る、と判断される。 Built-in ... Built-in ... Date Of Birth Enabled Confidential - GDPR Built-in ... Other Enabled Confidential Built-in ... Create new information type OK OK

- DB管理者の認証: Entra ID認証、SQL認証、Windows認証
  - ラボ3 Entra IDを使用してアクセスを承認する
- 仮想ネットワーク
- ファイアウォール規則
  - ラボ4 Azure SQL Databaseファイアウォール規則を構成する
- Microsoft Defender for Cloud
- Microsoft Defender for SQL
  - ラボ5 (前半)Microsoft Defender for SQLを有効にする
- SQL Information Protection (機密データの検出と分類)
  - ラボ5 (後半) データ分類を有効にする

# ラボ5(後半) 講師デモ

別紙